

令和4年度学校自己評価システムシート (県立日高高等学校)

目指す学校像	地域の期待に応え、社会で活躍できる生徒を育てる学校
--------	---------------------------

重点目標	1 授業改善を進め、基礎学力の向上を図る 2 基本的な生活習慣を確立させ、豊かな心身を育む 3 組織的・計画的な進路指導を充実させ、一人ひとりの進路実現を図る 4 地域・保護者との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者学校関係者	名
生徒	名
事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>【現状】授業研究や授業改善を行い、授業に満足している生徒の割合は向上している。資格取得に向けた補習体制により、生徒は各種検定合格に向けて意欲的に取り組んでいる。</p> <p>【課題】ICTを効果的に活用し、コロナ禍に対応したオンライン授業等の工夫改善を図る必要がある。基礎力診断テストを活用し、学習到達度の把握に努め、生徒の実態に即した授業を展開することが望まれる。</p>	授業の満足度85%以上を維持すること等を通じて、学習意欲を高め基礎学力を向上させる。	①教員相互の授業観察や研修会を通じて、教員の授業力を向上させ、生徒の基礎学力の定着を目指す。 ②年2回の学校評価アンケート(6月、12月)を実施し、経年変化の調査を継続する。 ③自習室の開室・利用促進、朝学習、タブレット、学習サポーター、全クラス配付の新聞4紙を活用して、学習意欲を育成する。 ④基礎力診断テストを活用し、個々の学習到達度を把握し、個に応じた学習指導をさらに充実させる。 ⑤各種検定試験に挑戦させ、達成感と向上心を育成する。	①授業公開や研修会を実施できたか。 ②アンケートの結果、「授業がわかる」、「授業に満足」の回答85%以上。保護者の満足度95%以上を維持できたか。 ③自習室・朝学習の実施状況。タブレット・学習サポーター・新聞を活用できたか。 ④基礎力診断テストの結果を基に基礎学力がどれくらい伸長したか。 ⑤検定試験の受験状況、資格取得状況。			
2	<p>【現状】落ち着いた生活環境に伴い、挨拶のできる生徒が増加した。多くの社会貢献活動をとおして、本校の地域への貢献度や存在感も高まっている。</p> <p>【課題】基礎的な生活習慣を確立させるために、さらに組織的に継続した指導をする必要がある。部活動において部員が定着するように指導の工夫をして、部活動を活性化することが望まれる。また、コロナ禍でも実施される社会貢献活動に積極的に参加し、自己有用感を持たせることが望まれる。</p>	基本的な生活習慣を確立し、規律ある態度を身につけさせる。 体験活動や社会貢献活動に積極的に参加させることにより、生徒の豊かな心身を育成する。	①挨拶励行・時間厳守・整理整頓の目標を教室に掲示し、規律ある生活態度を育成する。 ②朝の挨拶運動を継続し、あらゆる場面で率先して挨拶のできる生徒をさらに増加させる。 ③TPOに応じた服装指導等を学校全体で実施する。	①「ルールを守っている」、「整理整頓ができていいる」の回答90%以上。 ②教員は毎日、生徒会は週1回の挨拶運動ができたか。「挨拶をする」の回答95%以上。 ③登校時、全校集会時に実施できたか。			
3	<p>【現状】各学年で工夫した進路計画を組織的に指導し、ほぼ全員の進路を確定することができた。</p> <p>【課題】進路に対する意識が希薄な生徒もいる。生徒の職業観や就労への意識を高める工夫や機会を増やし、個々の生徒の適性に応じた進路指導が求められる。</p>	計画的・組織的な統一した進路指導により、生徒全員の進路実現を目指す。	①3年間を見通した進路計画を策定し指導をして、さらに見直しを図りながら生徒一人一人に適した進路指導を実施する。 ②進路行事・キャリア教育講演会を実施し、生徒の進路意識を向上させる。 ③保護者対象の進路説明会や情報発信の工夫により、家庭の理解を深め協力を求める。 ④外部機関や就職支援アドバイザーとの連携により、生徒をオープンキャンパスや合同企業説明会に積極的に参加させる。	①計画的かつ組織的に指導できたか。進路未定者がゼロに近づいたか。 ②充実した進路行事等が実施できたか。 ③保護者対象の進路説明会を開催できたか。またその際、保護者宛文書や一斉メールを活用できたか。 ④参加人数とその内容。			
4	<p>【現状】文化祭や体育祭等の学校行事への地域や保護者の期待は高まっている。また、地元小中学校との信頼関係を維持し、6年連続で入試倍率も1倍以上をほぼ保持している。</p> <p>【課題】学年別懇談会、PTA総会等の行事を複数の連絡手段を通じて周知し参加者を増加させる必要がある。学校説明会の内容や時期の見直しを図り、効果的に実施し、志願者の確保に向けた取組を学校全体で行う必要がある。</p>	PTA活動をより充実させるなど保護者との連携を深める。 本校の魅力を情報発信し、本校への理解度を高めて志願者数を増やす。7年連続入試倍率1倍超を実現させる。	①PTAだよりを年3回発行し、保護者への広報活動に努め、ホームページに掲載する。 ②保護者会等あらゆる機会を通じて、一斉配信メールへの登録を呼びかける。 ③PTA理事会等を通じて保護者同士のネットワークを構築し、学校行事への支援と参加を呼びかけ、PTA活動の充実を図る。	①PTAだよりの発行状況。ホームページへの掲載状況。 ②一斉配信メール登録者100%。配信回数年間50回以上。 ③昨年度と比べて参加者が増加したか。			
			①ホームページの内容を充実させ、更新回数年間200回以上、アクセス数1日平均950件を目指す。また、「日高高校だより」を学期に1回以上発行することを目標とする。 ②学校説明会の内容を充実させ、本校の魅力を積極的に発信する。 ③コロナ禍であるが、工夫しながら地域や地元小中学校との連携を深め、本校への理解啓発を進める。	①ホームページの更新数及びアクセス数、「日高高校だより」の発行回数。 ②学校説明会等への参加者数及び参加満足度。 ③各取組の実施状況とその内容。			

学校関係者評価	
実施日令和 年 月 日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	